

# 低出生体重児に発症した鼠経ヘルニアの検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	低出生体重児に発症した鼠経ヘルニアの検討
倫理審査 受付番号	第3961号
研究期間	2022年 1月実施許可日～2022年12月 1日
研究対象情報 の取得期間	下記の期間に本院の小児外科を受診された、鼠経ヘルニアの方 2010年 1月 1日～2022年 1月15日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	(研究目的、意義) 早産児・低出生体重児鼠経ヘルニアの発生率は高く、出生週数が小さいほど発症しやすいとされています。手術時期はNICU退院前に行う施設もありますが、麻酔管理上のリスクがあることから体重増加を待つ待機手術とするのが一般的です。一方、低出生体重児では嵌頓（かんとん）とってヘルニア内容の循環障害や壊死をおこしやすく、さらに高率に性腺

梗塞を生じるといった報告もあります。今回、当院で経験した低出生体重児鼠経ヘルニアについて、嵌頓や合併症を中心に検討を行います。そのことで、より侵襲の少ない適切な手術時期を見出すことができることとなります。

(研究の方法)

2010年1月から実施許可日までに当院で出生した低出生体重児のうち、鼠経ヘルニアを発症した患児を対象に、診療録より、性別、在胎週数、出生体重などの患者背景に加え、鼠経ヘルニア嵌頓歴や手術時期、手術時体重および術式から、術後合併症発症や再発について検討します。

(個人情報の取り扱いについて)

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

匿名化を行う前に参加拒否の申し出があった場合にのみ対象者としません。

**本研究に関する  
連絡先**

兵庫医科大学病院 小児外科  
小児外科 医師 野瀬 聡子 (研究責任者)

TEL | (平日 9:00~16:00) 0798-45-6220  
(上記時間外) 0798-45-6031